

平成25年2月20日

第3回キャリア教育アワード受賞者が決定しました！ ～産業界による優れた教育支援活動を表彰～

経済産業省は、子どもたちに対し働くことの意義や学びと実社会とのつながりを伝え、社会的・職業的自立に向けた力を育成する「キャリア教育」の取組を推し進めています。今般、産業界による優れた教育支援活動を表彰する「第3回キャリア教育アワード」の受賞企業等を決定しましたので発表いたします。

1. 受賞企業・団体

【大賞】（経済産業大臣賞を受賞した3団体より選出）

練馬区・練馬アニメーション協議会

活動名：練馬区「アニメ産業と教育の連携事業」

<審査委員会による主な評価コメント>

- ・地場産業を活かし「プロのすごさ」を子どもが間近に実感する機会を提供している。
- ・教員向けのガイドや研修会が充実しており、プログラムにも柔軟性があるため、学校が取り入れやすいプログラムとなっている。
- ・地域の中で、小学校から大学、企業、NPO 等関係者が連携しプログラムを構築している。

【最優秀賞（経済産業大臣賞）】

（普及型キャリア教育部門）

シャープ株式会社

活動名：障がいのある子どもたちに向けた特別支援学校等へのキャリア教育支援活動

<審査委員会による主な評価コメント>

- ・特別支援学校におけるキャリア教育は、学校現場として独自の努力だけでは推進が難しい部分であり、プログラム化し広く普及していくことの社会的価値は高い。
- ・講師の社内認定制度等、体制が整備されており多くの実績を積んでいる。

（地域ネットワーク型キャリア教育部門）

練馬区・練馬アニメーション協議会

活動名：練馬区「アニメ産業と教育の連携事業」

（地域密着型キャリア教育部門）

株式会社ケミカル山本 活動名：わくわくケミカルクラブ

<審査委員会による主な評価コメント>

- ・従業員数に比して毎年その人数と同等数の地域の子供達に「化学の面白さ」や「研究の大切さ」を継続して伝え続けている。
- ・理科実験の実施に当たっては安全面での配慮が特に必要な中、積極的に取り組んでいる点を評価したい。
- ・経験豊富なシニアがリーダーシップを発揮し地域の若者を育成する活動は今後普及させていくべき好事例。

【優秀賞】

(普及型キャリア教育部門)

花王株式会社 活動名：お家のおしごと

<審査委員会による主な評価コメント>

- ・系統立ったプログラムになっており、学校の教育課程の中で導入しやすい。
- ・キャリアのひとつとして、社会だけでなく家庭における役割があることも認識させる点に意義がある。

ソニー生命保険株式会社 活動名：ライフプランニング授業

<審査委員会による主な評価コメント>

- ・ライフプランナーという、実務を活かした取り組みになっている。
- ・「夢を描く」という部分に対して、世の中の様々なリスクも含め大人の視点からアドバイスがもらえる点が良い。

(地域ネットワーク型キャリア教育部門)

公益社団法人太田青年会議所

活動名：未来に向かって行動しよう～自分たちの会社をつくろう!!～

<審査委員会による主な評価コメント>

- ・地域の産業振興に資する取組である。
- ・地域の多様な人々が関わり活動を行っている。

東京商工会議所

活動名：東京商工会議所総がかりでのキャリア教育支援活動の実践

<審査委員会による主な評価コメント>

- ・高校までだけではなく、大学におけるキャリア教育まで視野に入れている。将来的な就職先としての中小企業を知る機会にもなっている。
- ・企業がネットワーク化され、様々なコンテンツの提供につながっている。

(地域密着型キャリア教育部門)

愛媛県中小企業家同友会

活動名：地域の中小企業が持つ教育力を子どもたちへ

～労働と職場の持つ教育力は子どもたち・企業・経営者を変える～

<審査委員会による主な評価コメント>

- ・愛媛県全県で行われており、広がりがある。
- ・地域の企業と触れ合うことで、子供たちにも「働くこと」に関するリアリティが感じられるのではないか。

【奨励賞】

(普及型キャリア教育部門)

一般社団法人日本チャレンジ教育協会 活動名：チャレンジカッププログラム
株式会社読売新聞東京本社 活動名：教育ルネサンス ことばの授業

(地域密着型キャリア教育部門)

有限責任あずさ監査法人

活動名：CSRキャリア教育プロジェクト「ドリカムスクール」

S B エナジー株式会社 活動名：未来×エネルギー プロジェクト

積水化学工業株式会社 活動名：“住まいと環境”学習プログラム

2. 選出方法

平成24年12月20日の応募締め切りまでに、30の企業及び団体から合計38件の応募をいただき、公募要領に明記した審査基準に従いエントリーシートによる事前審査委員会において優秀賞8組を選出いたしました。

さらに、平成25年2月19日に東京医科歯科大学 鈴木章夫記念講堂にて開催された「キャリア教育推進連携シンポジウム」において、優秀賞として選出された8組による事例発表を元に審査を行い、最優秀賞及び大賞を選出しました。

※各企業による活動紹介は別紙を参照

【表彰式の模様】



菅原一秀経済産業副大臣による表彰状授与



第3回キャリア教育アワード受賞者記念撮影

【参考1】

第3回「キャリア教育アワード」公募プレスリリース

<http://www.meti.go.jp/press/2012/10/20121010003/20121010003.html>

【参考2】

「キャリア教育」とは、「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」（平成23年1月中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）」）です。具体的には、「職業体験活動」や「インターンシップ」といった職業に直接触れる体験だけでなく、国語・算数・理科などの授業の内容と実社会とのつながりを理解させる活動なども含まれます。

(本発表資料のお問い合わせ先)

経済産業政策局産業人材政策室参事官 奈須野 太

担当者： 中島、高月

電話：03-3501-1511（内線 2671～4）

03-3501-2259（直通）